

## 平成 27 年 9 月丸森町周辺大雨災害調査報告（速報）

三戸部佑太（東北大学大学院工学研究科）

調査日：平成 27 年 9 月 13 日

調査メンバー：小森大輔，三戸部佑太（東北大学大学院工学研究科）

調査対象：丸森町周辺浸水および土砂災害

### 1. 概要

右図のような経路で調査を実施した。宮城県南部の丸森町では町内南部の筆甫地区において降り始めからの雨量が 573mm に及ぶ大雨を記録し、丸森町中心部で浸水被害および周辺の道路沿いに多数の斜面崩壊が確認された。

### 2. 丸森町役場周辺

丸森町中心部では 9 月 10 日 23 時頃から、地盤が低くなっている町役場周辺で浸水が生じた（図-2）。やや地盤が高くなっている消防署（写真-1）の駐車場脇まで浸水したとの情報から浸水深は最大でおよそ 1m 程度であったと推定される。本地域には雨水ポンプ場があるが、洪水時は阿武隈川からの逆流を防ぐため、排水路の水門を閉じる操作を行っている。今回の大雨でも水門を閉じており、内水氾濫により町役場周辺で浸水に至ったと考えられる。ただし、本地域には深さ 1m 程度の雨水調整池（写真-2）が整備されており、また 20 時頃から消防団（水防団を兼ねる）が排水ポンプにより内川への排水を行っていた。これらにより浸水被害が軽減されなければより大きな被害へ進展していた可能性が高い。



図-1 調査経路および土砂災害確認箇所  
（画像は Google Earth より引用）

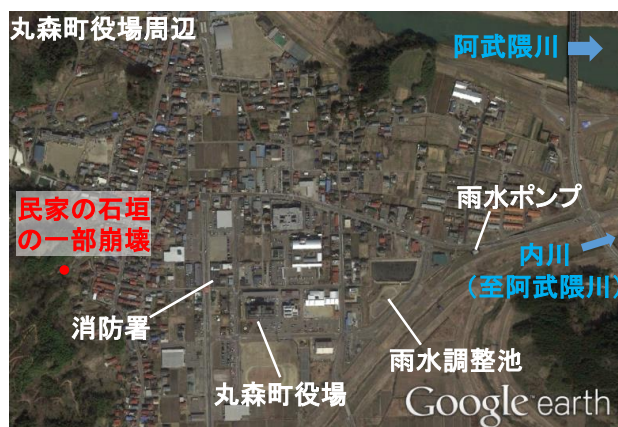


図-2 丸森町役場周辺の状況



写真-1 丸森町の消防署



写真-2 丸森町の雨水調整池

### 3. 丸森町周辺での土砂災害状況

国道 349 号線は阿武隈川沿いの斜面上に位置しており、これに沿って多数の斜面崩壊(写真-3~5) および斜面崩壊による道路の部分的陥没(写真-6)が確認された(図-1 参照). その中でトンネル入口の上部の斜面が崩壊し道路やトンネル内に土砂が流入している箇所が複数確認された(写真 5). また, その他の道路沿いでも急斜面の崩落箇所が確認された(写真-7~8).



写真-3 斜面崩壊(図-1①)



写真-4 斜面崩壊 (②)



写真-5 斜面崩壊 (③)



写真-6 道路陥没 (④)

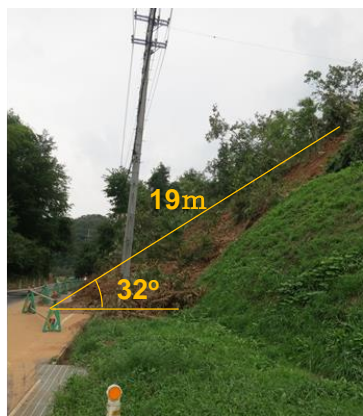


写真-7 斜面崩壊 (⑤)



写真-8 斜面崩壊 (⑥)